

8月12日（月）

ロンドン観光、帰国の途へ

まず、ガイドさんの案内でロンドンの一つにあるシンボル「ロンドン・アイ」を見学しました。その後、たくさん写真を撮りながら、ウェストミンスター橋を渡り、ウィリアム王子が結婚式を挙げたウェストミンスター寺院、ロンドンのシンボリック的存在である国会議事堂（通称ビッグ・ベン）などを巡りました。現在、ビッグベンは大規模の修復の為、足場に囲まれている状態です。非常に珍しい光景で、建築マニアも集まってきます。



その後、衛兵交代式に間に合うよう、St. James' 公園の木々や湖を通り抜け、のどかな水鳥を横目に見ながら、バッキンガム宮殿に向かいました。夏休みで、ロンドン市内中心地にある大きな緑のスペースということで、たくさんの人が公園でリラックスして過ごしていました。

さすがは世界中の観光客が集まる場所バッキンガム宮殿、非常に混んでいましたが、赤いジャケットに黒い帽子姿の衛兵の交替式を見ることが出来ました。ロンドンを訪ねる外国人が英国王室の威厳を感じるような、堂々とした行進でした。



次に、ロンドンの繁華街「ピカデリー・サーカス」で、ランチを含めて自由時間をとりました。

殆どの生徒たちが紅茶の専門店「Fortnum & Mason」に入り、家族や友人の為に品質の良い本格的な紅茶を購入していました。サッカー好きな男子の生徒達は、スポーツ用品の名店「Lillywhites」に入り、応援しているプレミアリーグのユニフォームを手に入れました！

最後に、「National Gallery」（国立美術館）を見学しました。イギリス代表の画家ターナーからルネッサンス時代で活躍したレオナルド・ダ・ビンチの作品まで、西洋の美術や歴史を見学し、大変勉強になりました。



最後の観光地を見学してから、ヒースロー空港へと移動しました。全員、英国時間 19 時発の全日空 212 便日本直行便の手続きを無事終了し、一路、家族の待つ日本へと飛び立ちました。

(引用：(株) コッツウォルズ・ウインド・アカデミー 公式ホームページ)

引率教員「あとがき 1」

夏期イギリス研修に参加された皆さん、2 週間本当にお疲れ様でした。

この 2 週間、その割合は個々で異なるにしろ、それぞれにとって楽しい時間、苦しい時間があつたのではないかと思います。

研修を終えた今、皆さんはどのような感想を抱いていますか？

とても楽しかったと感じている人、恐らく研修の中で自分の英語力を存分に活かし、大きな手ごたえを感じたのではないのでしょうか。学校の授業の中では得難い、英語は単なる「教科」ではなく「コミュニケーションの道具」であるという実感を得ることができたのではないかと思います。もし、この研修を通して海外への興味がさらに広がったなら、今後は是非、さらに長期の留学に挑戦してください。

とても苦しかったと感じている人、恐らく研修の中で日本や日本にいるご家族を恋しく思い涙した日もあつたかもしれません。それほど自分にとって過酷な環境の中で、2 週間頑張った自分を褒めてあげましょう。この研修の目的の一つには、英語力の向上がありますが、同時に人間力の向上も非常に大切な目的だと私は思います。普段の生活とは異なる環境で、異なる言語を使って、その難しさや違いに戸惑いながら、それでも最後まで頑張った皆さんは、その点でとても成長していることでしょう。

いずれにせよ、この 2 週間は皆さんのこれからの人生にとってかけがえのない経験になることと思います。

何かに挑戦するとき、私がいつも自分に言い聞かせる言葉があります。

「高い壁を乗り越えたとき、その壁は貴方を守る砦となる」

この研修に参加させてくださった保護者の方への感謝の気持ちを忘れず、これからもたくさんの方に挑戦し、感動する体験、苦勞する体験を重ねていってください。

最後に、顔と名前を覚えるところからスタートしたこの引率ですが、素敵な皆さんに関わる機会を得られたことをとても幸せに思います。これからも、生徒の皆さんの活躍を陰ながら応援しています。

本当にありがとうございました。

引率教員「あとがき 2」

初日、たくさんの保護者様方にお見送りいただき、伊丹空港を出発。ヒースロー空港への長旅が始まりました。羽田空港を経由し、出発から約17時間の空の旅が終わると生徒たちはすごく疲れている様子。しかし、到着後すぐに今回お世話になる学校へ向かい、ホストファミリーとのマッチングがありました。

翌日以降、April先生の授業が始まりました。ホストファミリーから受け取ったランチボックスは、チップスや果物がたくさん。最初は戸惑う生徒もいました。今回の授業では、研究テーマを1つ選び、最終日にプレゼンテーションを行うというプログラムでした。プレゼンに向けた授業の中で、フィールドワークを含め、さまざまな観光地に足を運びました。原稿を書いたり、スライドを作成したり、パソコンの扱いに苦労する生徒もいました。約10日間の活動を経て、生徒たちは2人1組になって研究の結果を発表します。発表は大きな講堂で大きなスクリーンを使って行われました。会場には各ホストファミリーが集まり、生徒たちも緊張していたかと思いますが、どのペアもすばらしいプレゼンをしてくれました。

翌日の8月11日。早朝に学校へ集合し、ホストファミリーと最後のお別れをしました。その後はロンドン市内へ向かい、ミュージカル(ライオンキング)を鑑賞。ホテルで1泊すると、いよいよ最終日を迎えます。ロンドン市内を観光し、夜の便で帰国します。

全体を通して、生徒たちは慣れない環境の中、よくがんばったと思います。ホストファミリーとの生活を楽しめてる生徒もいれば、自分の英語力に自信がなく、ホストファミリーと過ごす時間がすごく疲れるという生徒もいました。どちらにとっても今回の語学研修は、生徒たちにとって(英語の勉強以外においても)とても貴重な経験になったと思います。今後はこの経験を活かし、自分の成長に役立ててもらいたいと願っています。